

令和5年度岡谷技術専門校運営協議会 主な意見

開催日時: 令和6年(2024年)2月

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方	
評価シートに関する事	応募・入校に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科	ものづくり技術科ほか各科における定員充足率の向上にむけて、本市としても、取り組みを検討し協力体制の構築に取り組んでまいりたいと考えております。  応募・入校について引き続き周知をよろしく申し上げます。	ありがとうございます。 訓練内容や本校の取組について管内市町村の広報媒体等にもご協力を頂き、広く周知と募集を募り定員充足率の向上に努めてまいります。
	訓練に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科	当地域の製造業を担う人材の育成にご尽力いただいている所ではございますが、以下につきまして、ご検討いただきますようお願い致します。 ・ものづくり技術科における満足度指数が70未満となっており、満足度調査の内容検証や対応をご検討いただきたいと思います。製造業への就職においては技術や資格が求められると想定されますが、カリキュラム内での技能検定に係る資格取得支援や就業支援の充実をさらに図っていただきたいと思います。 ・機械制御課及びFA装置科においては、満足度は高いものの入校数に反映されていない為、募集の打ち出し内容(就職率や資格実績等)や周知方法、広報デザイン等を精査・工夫いただき、引き続き周知をお願い致します。	受講生の満足度指数につきましては、母数の多少により大きく左右されるものであるため、原因を一口に纏めて論ずることは困難な部分があります。 ・ものづくり技術科につきましては、就職支援や資格取得に関して、時間を割いてフォローしても結果に結びつかない場合などもあるため、失敗や退屈の中でモチベーションを維持しながらカリキュラムをこなしていくことが、製造業の現場において必要とされる資質であると考えております。 ただ、1年間という貴重な時間を費やした結果として身に着けた技術や知識が本人の理想としたものと一致しなかった点については反省し、今後のカリキュラム編成等に生かしてまいります。 ・機械制御科及びFA装置科は6ヶ月の訓練において密度の濃いカリキュラムを組んでいることが満足度に繋がっていると思われま。今まで製造業に馴染みの無い幅広い層に対しても魅力が伝わる周知方法等について、チラシやポスターなどのデザイン等を含めて検討してまいります。
	就職に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科	特になし	
	参考指標に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科	特になし	
	その他		特になし	
地域の学びの場としての技術専門校のあり方、カリキュラムについて		これまで同様、貴重な汎用機械等を十分にご活用いただき、地域産業の技術者レベルの維持や、新しい技術や製品開発も視野に入れた訓練を継続的に実施していただきたい。	今年度の設備入れ換えに伴い、訓練生1人1台ずつ簡易3Dプリンターを使える環境を整備しました。ものづくり技術科においては従来から行ってきた旋盤加工等の技術習得に加え、機械系3次元CAD、制御プログラミング等を学び製造分野におけるデジタル技術の活用を見据えたカリキュラムにしています。	
		DXの活用による生産性の向上について実践的なカリキュラムを引き続きよろしく申し上げます。	当校では校内訓練、民間活用委託訓練ともにDXリテラシー標準を念頭においた求職者等の訓練を実施してまいります。	
		特に校内常設訓練のカリキュラムに関するご検討をお願い致します。 ・技能工の確保や技術伝承、人材育成、多能工化への対応を望む意見が各種の調査において見られます。多能工化や技能工の育成等の観点から、常設訓練の5種訓練を総合的に学べる2年課程の設置は可能でしょうか。 ・国の推奨しているリスキリング施策の観点から、非正規雇用の方々向けの夜間、休日カリキュラムの設置のご検討をお願い致します。 ・人材不足への対応として、労働生産性の向上が課題の一つとなっております。スキルアップ講習には品質管理基礎が重要になることからそれに関する基礎訓練の講座につきましてもご検討をお願い致します。	・「常設訓練の5種訓練を総合的に学べる2年課程」とのことですが、1年制の「ものづくり技術科」は元より機械制御科とFA装置科を総合的に学べる課程であります。プロダクトマネジメント科がまだ開講できておらず、訓練メニューの評価もされていない現時点においては、同科を一刻も早く開講し、実際に訓練を行って評価を得ることが最優先の課題と考えております。 ・「非正規雇用の方々向けの夜間、休日カリキュラムの設置」とのことですが、校内常設訓練は離転職者を対象とした集中訓練であり、働きながら夜間や休日に行う在職者のステップアップのための訓練は想定しておりません。スキルアップ講座へのご提案であれば、昨年度もお答えさせていただいたとおり、校内施設・設備、外部講師の時間の有効活用の観点から、校内訓練の空いた時間、場所、設備を利用し、外部講師の都合のつく範囲で行っているものであるため、実現は極めて困難です。ご理解ください。 ・スキルアップ講座の内容につきましては、校内施設・設備、外部講師の都合等により日程や講座の内容について決定しています。ただ、「生産技術・生産管理の習得」については、個々の企業によって様々に異なるものであると認識しておりますので、複数の企業から幅広く受講生を募って行う訓練にふさわしいものか、それより業種を絞ってオーダーメイド型の訓練とすることが適当か、具体的なご提案がございましたら、それをお聞きしてから、講座の内容が実施可能なものかどうか検討させていただきます。	
		地域企業のニーズに基づく人材育成、企業体質強化のための支援を望みます。	現在も在職者訓練として年間40講座ほどスキルアップ講座として実施しています。どんな要望にも対応できるわけではありませんが、具体的な新規分野における講座の開設要望があればご意見として伺い今後の講座開設について検討してまいります。	
		中小の製造業が多い当地域では人材育成を行いたい考えはあるものの、(社員を研修に)出したくても出せない事情の企業もある。産業構造が変わりつつある中、何が求められているのかを把握したカリキュラム作成が出来ればよいと思う。	スキルアップ講座は、ものづくりを行う中小企業の在職者を対象として、機械系を中心に技術・技能の向上のための講習会として実施しています。「出したくても出せない事情の企業もある。」とのことですが、当校の側で工夫すれば解決すること(例えば複数の企業でオーダーメイド型の講座を開催してほしいという要望)であれば、ご提案いただければ実現可能なことか検討させていただきます。	

項 目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
在職者の入校について		<p>人材不足の状況が続くなかで、社員を外部機関での技術訓練等に参加させ技術や知識レベル向上を図りたいという地元企業の要望も多いため、スキルアップ講座など勤務と並行しながら学べる講座など、引き続き効果の高い講座の実施お願いいたします。</p>	<p>上記のとおり在職者訓練に係る多岐に渡る要望があることについては承知しております。ご提案を真摯に受け止め技術専門校としての立ち位置を変えることなく望まれるカリキュラムの実現に努めてまいります。引き続き、よろしく願いいたします。</p>
		<p>御校は当地域の製造業を担う人材を育成する訓練機関として重要な機関であり、在職者の入校にはご尽力されているところではございますが、今後の製造業の担い手の育成と確保のため、さまざまな機関との協力体制を強化し、さらに効果的なお取組みをいただきたく、以下のご検討をお願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知の機会を増やしてはいかがでしょうか。既に出展されている諏訪圏工業メッセの他、周知対象年齢を下げ、キャリア教育のような観点での露出展開は可能でしょうか。具体的には、岡谷市が例年実施しているものづくりフェアへの参画です。また、各学校では地域産業(シルク)に係る学習の機会がございますが、中学生を対象に、ものづくり産業も地域学習の一環として、技専校内での実演や体験を含めたカリキュラムとして、教育委員会等への働きかけ等ご検討をお願いいたします。</li> </ul>	<p>現在、高校の新卒者につきましては募集時期に諏訪管内、伊那管内の高校に赴き進路指導の担当教諭に対し、製造業に興味を持っている卒業見込みの者に対して各科の説明と勧誘を実施しています。また、岡谷工業高校で毎年実施されている高校合同企業研究会にもブースを出展しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案頂いた中学生等を対象としたキャリア教育については全県下でサマースクールの様な形での実施を模索したものの課題をクリアできなかった経過があります。</li> <li>「ものづくりフェアへの参画」につきましては、同フェアが子ども向けに出展企業が自社製品に触れる機会を提供する場に変わったと承知しており、そのコンセプトと当校の取組がうまく一致するのか、少なくとも接点があるのか、見定める必要があると考えております。</li> <li>中学生を対象に、地域学習の一環として、ものづくりに接する機会を設けることは重要であるとの認識は共有しているものの、その機会第一義的には就職を期待する実際の生産活動を行っている企業において提供されるべきであると認識しており、教育委員会を含めた市全体の取組として行われることを期待しております。それが行われるようになった将来において、職業訓練施設として当校がお役に立てる部分があれば、ぜひお声掛けをお願いしたいと思います。</li> </ul>
その他(運営に関すること)		<p>平均年齢、人口推移から見た人材不足は、地域の企業にとっても大きな課題の一つであると共に、御校におかれましても入校者数への影響は大きいと考えますが、地域産業を支える重要な機関として、引き続きご尽力いただきたく存じます。</p>	<p>人口減少による働き手不足や、各種学校における募集定員割れは当該地域だけの問題ではなく全国共通した課題でもあります。当校といたしましては新卒者、離転職者の応募を最優先としつつ、常設で実施している短期課程の校内訓練においては、企業からの委託訓練としての受け入れも定員の範囲内で可能となっておりますので、こちらについても広く周知していきたいと考えております。</p>
		<p>以下の専門技術教育があるとよいのでは、との意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①IOT、DX化の基礎</li> <li>②板金技術(ファイバレーザー溶接、プログラミング)</li> <li>③医療機器における品質マネジメント13485に関するもの</li> <li>④自動車産業に特化した品質マネジメントIATF16949に関するもの</li> <li>⑤精密測定技術のコース(3次元測定器、ISOで要求されている計測器校正のための講習)</li> <li>⑥化学物質管理のコース(大手との取引では有害物質の不使用証明を要求されるため、人材・知識が不足している中小企業にとっては大きな負担となっている)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①についてはプロダクトマネジメント科で実施する内容をご提案頂いた内容に近いと思われます。</li> <li>②につきましては設備及び講師の問題があるため当面実施は困難であると思われます。</li> <li>③～⑥については管内の企業様の製品ごとに特化した品質管理に係る講座になるかと思われますが、個別の実施にしても全体を併せた講座にするにしても講師の確保が第一の課題となります。</li> </ul> <p>ご提案頂いた内容につきましては今後の講座開設の参考とさせていただきます。</p>
		<p>入校案内の周知依頼についてチラシが1枚しか配布されていない。</p>	<p>申し訳ございませんでした。配布するお手数をお掛けすることを憚っておりましたが、具体的に周知していただければ、必要な部数を直ちにお送りしますので、ご教示願います。</p>